


# 再開発事業は、十分な情報提供で住民の理解と納得の上で

風見 利男 (日本共産党 港区議会議員)

区政とあなたを結ぶ

タウンネットワーワー



## 港区が大企業のための旗振り役はすべきでない

この間、アークヒルズからはじまって、各地域で市街地再開発事業が進んでいます。多くの住民が転出を余儀なくされています。(表をご参照ください。)

結局、弱い権利者は住みつづけられず、中心にいる大企業だけが大きくする結果になります。

党区議団は、住み続けてきた住民を守るために、区がしっかりと対応するよう質問してきました。

二〇〇〇年度(平成十二年) 決算特別委員会での総括質問の要旨をお知らせします。

一人ひとりの生活が成り立つものか、しっかりと説明し、

理解と納得が得られるまで手続きはしないこと

⑤一人ひとりの生活が成り立つものかどうか。

〔質問〕再開発事業で住んでいた方の多くが転出を余儀なくされています。アークヒルズでは九五%が転出、六本木六丁目は進行中ですが、六三%が転出しています。再開発の動きがでると、急激に地上げが進むので、もっと多くの区民が転出しています。これでは区がめざしている「まちづくり」とは正反対の結果です。

区は、再開発事業をやる必要が重要なのか、必要でないのかから住民参加を貫くこと。その上で、

①現在所有している土地が床に代わってしまうこと。

②建物は減価償却で、価値が限りなくゼロに近くなってしまうこと。

③高層住宅になれば、かなりの管理費や修繕積立金が必要になること。

④いずれ建物も古くなっても、自分一人の意思では建て替えも出来ないこと。

薬研坂開発で目標としているの権利変換率

〔北地区〕  
ネットで1.6倍

〔南地区〕  
ネットで1.0倍~

権利変換率とは、みなさんがお持ちの土地が床に代わる率です。

1倍とは30㎡の土地は、30㎡の床面積です。

〔区長〕今後とも、市街地再開発事業を進めるにあたっては、権利者の方々に情報を提供し、説明すると共に、合意形成の状況を十分勘案しながら、適切に対処してまいります。

2001年  
12月号外  
発行責任者  
日本共産党  
港区議員団  
連絡先  
風見区議宅  
3405-9294  
区議団控室  
3578-2111  
内線2945

	計画決定前 の人口	権利移転 の総数	権利移転 の割合	残った人	権利移転者 の人数	比率
7-7地区	567人	44人	10人	33人	537人	95%
六本木西地区	433人	90人	21人	69人	364人	84%
六本木6丁目	1,118人	490人	72人	18人	700人	63%